

令和 6 年 7 月 5 日 開 会

令和 6 年度第 4 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

令和6年度 第4回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和6年7月5日(金)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 草野 浩一
午前9時58分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 川崎 史明
↓		
午前10時57分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大山 昭
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻前であるが、定足数に達していることから令和6年度第4回教育委員会定例会を開会した。

2 令和6年度第3回定例会会議録の承認について

令和6年度第3回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 議事

報告第22号 垂水市社会教育委員の委嘱について

報告第23号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について

4 その他

(1) 令和6年第2回垂水市議会定例会について

(2) 令和6年度垂水市教育委員会学校訪問校における課題と解決策について

(3) 熱中症警戒アラートについて

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
報告第 22 号 垂水市社会教育委員の委嘱について	垂水市社会教育委員の委嘱について、教育長の臨時代理により行ったことを報告するもの。		承認
報告第 23 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について	垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により行ったことを報告するもの。		承認

議 事 内 容 等

3 議 事	<p>報告第 22 号 垂水市社会教育委員の委嘱について (資料に沿って説明)</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
社会教育課長	
社会教育課長	<p>報告第 23 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について (資料に沿って説明)</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
4 その他	<p>令和 6 年第 2 回垂水市議会定例会について (資料に沿って説明)</p>
教育総務課長	
学校教育課長	<p>令和 6 年度垂水市教育委員会学校訪問校における課題と解決策について (資料に沿って説明)</p>
福里委員	<p>熱中症警戒アラートについて</p> <p>この時期は熱中症アラートの発表が出されると思うのですが、熱中症アラートが発表された場合、学校はどういう対応をされるのか決まっていれば教えていただきたい。</p> <p>この間、小学校の学校訪問のときに「熱中症アラートが出ているので、子ども達は外で遊んでいません」とおっしゃっていたのですが、中学校は昼休み外でいっぱい遊んでいたようでした。</p> <p>つまり、各学校で対応に差があるのか、学校で対応が決まっているのか、幼稚園も 8 月は普通にあるので、参考にさせてもらえたらと思ってお聞きするところです。</p>
学校教育課長	<p>学校は、熱中症に対しては危機意識を持っていて、測定する機械を持っています。一般的には養護教諭が測定することが多いのですが、定期的に大体 1 時間に 1 回ぐらい、特に、暑い日は確実に確認をし、これは危ないというレベルに達したとき、例えば昼休みの時間帯が一番暑い時間が多いですが、給食時間に「今日はもう外での活動を控えましょう」とかいう放送をしたりして、共通理解をしていると思います。</p>

	<p>ただ、学校の立地状況によって微妙なところがあることから、各学校の判断で学校によって対応が少し違うところも確かに出てくることはありますが、特別警報が出る場合には全校一斉の態勢になります。例えば、体育はもう外ではやらない。屋内でやる場合には、例えば扇風機をつけるとか、基本的に外での活動はもうすべて控えるというような態勢を特別警戒のときには行います。</p>
福里委員	<p>その情報は天気予報で見ればいいということですか。</p>
学校教育課長	<p>特別警戒のときには、前の日の14時頃、県・市を通じて連絡が入るようになっていきます。</p> <p>アラートの発表には2種類あって、熱中症警戒アラートと、もう1つ上の段階で特別という言葉がついた熱中症特別警戒アラートというものがあります。</p> <p>警戒アラートの方は、確実に明日暑くなるという場合に、行政的な連絡を使って前の日までに学校に連絡がくるようになっていきます。また、それとは別に、今、暑い時期が結構長いので、学校は学校で熱中症指数計を使って、子ども達の活動について判断をしています。</p>
教育長	<p>測る機械があります。室内だから大丈夫ということでもないです。適度な水分補給も適切にしていけないといけません。</p>
5 委員並びに教育長及び課長報告	<p>委員並びに教育長及び課長報告に入る。</p>
田原委員	<p>学校訪問についてです。</p> <p>はじめに、学校訪問後、言ったことに対して早速、こういう形で改善策を作ってくださり「すごいことだな」と、そういう意味でも「やっぱり学校は違うな」と思っているところです。私たちも本当に勉強してかからないといけないなど、自己反省したところです。</p> <p>まず、新城小は、校長のリーダーシップがすごかったです。</p> <p>G I G Aの先進校として、反転学習や自由進度学習など新しい学習形態にどんどん取り組んでいました。</p> <p>子どもたちのタブレット活用能力が高く、辞書を引く如く、分からないことをすぐに検索したりしていました。「いつでも」「どこでも」授業の中でも活用しており「すごいな」と思ったところです。</p> <p>必要に応じて、子どもたちで自由に座席を崩し、グループやペアで話し合ったり、活動したりしていました。こういうのも、これまでにない活動、授業の形態だと思い、感心するところでした。</p> <p>ただ、私たちの考えが古いのかもしれませんが、授業の中で「学習のまとめ」や「基礎基本を整理する」場面があって欲しいなという場面もあり</p>

ました。個別指導の中で確認されているのかもしれないですが、「一緒に板書する」、「ノートでのまとめ」、「集団で考える」という場面もあっていいのかなと思いました。少し少なかったような気がしました。

それから、不登校の対応は家庭の困りごとが多いような感じを受けました。地域の方々の協力も得られる地域だと思えますので、家庭への支援、母親への支援が必要なのかなと感じたところでした。

次に、水之上小は、これまた校長のリーダーシップのもと、昨年から積み上げてきた授業改善あるいは学力向上の取組が、1年から6年まで同じ方向で進められ、管理職の見届けも徹底したのか学力が向上していました。また、今年度から先生方も新しい布陣となり、あらゆる活動に学校一丸となって、積極的、意欲的に取り組んでいる感じを受けたところでした。

今後、児童数減を見込んで地域と一体となって推進していく教育活動にシフトいくと思われるので、私も地域の一員として協力していきたいと考えています。

葛迫委員

まず、令和6年度の生涯学習市民講座について報告したいと思います。

生涯学習オープニングフェアが5月19日に開催され、約1か月半ほど経ちましたけれども、5月末には、早速学習が始まった講座もありました。

私が講師を務めている「初めての油絵講座」が、6月から月1回開催する計画でしたけれども、7月は明後日の県知事選挙の影響を受けて、開催できないということになり、6月に2回開催しました。

また、昨年まで開催していた「デッサン講座」や「水彩画講座」などは、平日の夜の講座として開催していましたが、欠席者が結構多く出ていて、最終的には過半数にも満たない受講生で終わってしまうという状況でしたので、今年は、昨年までの反省を生かし、日曜日の午前中の日程にしました。

これまで2回行ったところですが、2回とも1人の欠席者もなく講座が続いており、非常に安堵しているところです。

油絵講座というとお金がかかる講座ですけれども、日程とか時間帯によって、こうも変わるのかなと思ったところです。また、お金がかかることで受講生の方たちは道具の手入れや一つ一つの道具を大事に扱う。そして、じっくりと見つめ考えながら描いていく。後片付けや道具の後始末など自分の宝物のような所作で取り扱っていく様子が伺えました。

今の時代、なんでも物がそろう世の中ですけれども、こういう姿こそが技術を高めていくのだと感じたところです。受講生の1年後の作品発表が非常に楽しみだと感じたところです。

次に、7月2日の学校訪問についてです。

新城小については、不登校の児童たちのことがやっぱり気になります。学校は楽しいところであり、友達と「遊び」、「学び」、「給食を食べる」そういうところです。分からないことや知らないことを友達と「話し合う」、「教え合う」、「確かめ合う」、「知らない知識をみんなで探す」、「見つけ出す」、そうして大人になっていく、新城小の子どもたちみんなで様々なことを共有することを学んで欲しいと感じました。

水之上小学校については、キャッチフレーズが「花と緑とカブトムシの

学校」カブトムシの飼育によって命の大切さを学ぶ水之上小学校ですが、今回の学校訪問では、あまりそのことに触れることがなかったような気がしました。廊下にカブトムシの籠が置いてあり、1匹だけ目にしましたけれども、水之上小学校の特徴として、このカブトムシのことを「作文」であったり、「図画工作」であったり、何でもいいと思います。触れて欲しいなと感じました。

そして、今回の学校訪問を終えて感じたことは、まず、3名の指導主事体制が素晴らしい。今までより目配りがきいているし、他の部分にも目が向いているように感じました。

これまでの2名の指導主事体制のときは、夜遅くまで仕事をされているし、指導主事の先生たちは大変だなと思っていましたが、今年から3人体制になって、よかったなと思っています。

教育長はじめ、学校教育課長、教育総務課長、社会教育課長、そして3名の指導主事、このような専門的知識を持った先生方が、近年の変化する教育動向や子ども達の育成など、あらゆる角度から垂水の子供達に寄り添い支え、「垂水の子供達たちが未来へ、世界へ羽ばたける土台づくりの教育をしてくれている」と思い、感じることでした。

田之上委員

私も学校訪問についてです。新城小学校、水之上小学校に訪問させていただきました。両校とも雰囲気はとても良く、子どもたちと先生方、また職員同士が良好な関係を築いているのだなと思うことでした。

いただいた資料を見ましても、学力や体力、健康、安全面ともに分析がしっかりとされており、課題解決に向けて取り組んでいこうとする姿勢がよくわかりました。

また、授業参観では学びの中でタブレットをスムーズに活用しながら、ますます深い学びへとしていこうとする姿勢を感じました。校内の掲示物なども、子どもたちの日常の学びや生き生きと活動する様子がわかるものであったなあと感じています。

次に、先日、放課後学童クラブの市内合同研修会があり参加をしました。「子どもたちの居場所」というテーマで講話がありました。30年ほど前から放課後学童に関わってこられた講師の方のお話でしたが、実践例や思いなどを交えてお話をされました。やはり、お話を伺いながら、子どもたちや保護者との向き合い方などについて、改めて、自分自身を振り返るよい機会となったなと思いました。今回は、講話が少し長くなったため、情報交換の時間が取れなかったのは少し残念でしたが、やはり定期的に学び直していくことが大事だなあと感じたところです。

それから、子どもたちも急に暑くなって日差しも強くなって子どもたちが少し心配なのですが、垂水小学校でも体調崩す子が多いと聞いています。児童クラブでも放課後帰ってきて、少し元気がないかなと熱をはかってみると39度の熱があるという子も何人か出たりしています。子どもたちがちょうど下校する時間帯がすごく暑いので、声かけとかしていただいて、少しでも子どもたちが安全に過ごせるようにしていただきたいなと思います。

最後に、私に関わっている児童クラブの中で、子どもたちからいいお話

	<p>が聞けたので、ご紹介したいと思います。</p> <p>ある子が、「僕ね、県版テスト100点かもしれない」と嬉しそうにいう子がいました。「100点だったら教えるからね」と言われて、私はちょっと楽しみに今待っているところです。</p> <p>もう1点は、子どもの筆箱を開けたところ、筆箱の中にお母さんが書かれたメモ、メッセージカードが綺麗に貼り付けてありました。全部はちょっと申し上げませんが、その子はちょっと元気すぎる子なのですけれども、その筆箱の中に「手足は絶対に出さない」とか、「大きな声出さないんだよ」と、注意が書いてある中で、「最後に辛くなったら先生に話をする」、「そして家族はいつも味方だよ」という言葉が書いてありました。ちょっと何か感動したので、ご紹介させていただいて終わりたいと思います。</p>
教育長	<p>素晴らしいお母さんですね。それを目にしながら、子供は「自分の行動」、「言動」を振り返るのですね。いいですね。</p>
福里委員	<p>7月2日新城小学校と水之上小学校の学校訪問させていただきました。両方とも自由進度学習と予習型反転学習を行っているクラスがありました。うまくいっているところもあれば、思うようにいかないところもあったと思いますが、先生たちが子どもたちの学力向上のために頑張ってくださっていることに感謝しかありませんでした。</p> <p>すごくいい話を聞いた後なのですけれども、両校とも保護者の協力を得られないところもあるという話があったので、どの学校ももう少し保護者と一緒になって頑張れたらいいのかなと感じました。</p> <p>次に、垂水小学校では、運動会の開催時間のアンケートが早々にありました。アンケート結果については「学校だより」に書いてあったのですが、8割以上は午前中開催を保護者の方が希望されていました。選択は、午前中、ご飯食べての2時、ご飯食べての3時という3つからでした。うちは娘が一日やりたいと言っていたので、2時で回答をしたのですが、回答率は8割を少し超えるぐらいでしたが、午前中の回答が80%、2時が10%、3時についてはもう10%切っていたことから、午前中開催と決まったようです。今年度は、6年生にも聞いたみたいで、子どもたちもほとんどが「午前中がいい」と答えたようです。なので、そういう時代になってきたのかなと思って残念に思いました。</p> <p>市の図画作品展についてです。作品の出展日が今日ですかね、息子も選ばれて色塗りを家で頑張っていました。絵が苦手な私にとっては、その何日もかけて色を塗ることが、まず考えられなくて、昨日水泳の地区総体で、出せなくて今朝のぎりぎりまでかけて仕上げることができました。</p> <p>今まで描いたことのないものをちょっとチャレンジしたということだったのですが、夏休みの生涯学習の案内も来ていて、ヨガ教室、絵画教室、親子の料理とかあったのですけれど、娘はもう早速、葛迫委員の絵画教室に申し込みをさせてもらいました。そういう機会があるのは、すごくいいなと、夏休みにあるのがいいなと思いました。</p> <p>6月28日は中央中のPTAと講演会がありました。学年主任の先生から、保護者の方に「とにかく勉強させてください」と、「また、子どもたちに</p>

教育長

も伝えてください、頭に汗をかかせてください」ということを言われて、息子にも伝えました。

また、テストを返すときに、先生たちが「ここはこうだから」とか「基礎ができてきているよ。でも、ここがどうだよ」と一人ひとりに言ってくださるみたいです。

今年から自己推薦制度が始まるのですかね。その説明もあり、いよいよ受験の本番だなと感じたところでした。

ありがとうございます。

運動会の話に少し帰りますけれども、「子どもの選択」、「保護者の選択」あるのでしょうかけれども、私は小学校と中学校で差があることから、そのギャップに子どもが耐え切れるのかなということを懸念します。中学校は終日開催します。おそらく、今年もそうなると思います。小学校も午前中で開催してしまうと、それだけの体力しかないと思います。ところが中学校に行けば演舞もあるし、終日行うことから体調を崩さないかと本当に懸念します。ですので、午前中開催が悪いとは言いませんけれども、そのギャップに耐えられるのだろうかというところは、少し考える必要あると思っています。

教育長

私の方からは、研究公開あるいは研修会のことを触れておきたいと思います。

先週から今週にかけて、新城小学校研究公開、中央中の道徳の研修会、そして、昨日垂水小学校の研究公開がありました。指導主事が倒れるのではないかと、毎日、各学校へあるいは準備も含めても含めて、大変な状況でした。葛迫委員がおっしゃっているとおり、指導主事が3名体制になってよかったなと課長とも話をしています。そういう部分では「カバーできるところはカバーしながら」という意味でもよかったなと思っています。

少し中身を紹介しておきたいと思います。

まず、新城小学校です。

先ほど来、話が出ており、学校訪問とも重複するのですが、5・6年複式の授業の公開をしました。

5年生は単元内の自由進度学習、6年生は予習型の反転学習ということでしたけれども、複式でこういう授業は可能であり、まさにチャレンジした授業で、担任が授業の準備をしっかりとできていました。

もちろん、いろいろと課題はありますが、随所に担任の思い、工夫が込められており、すごくいい授業だったなと思います。何よりもよかったのは、市の指定ということで、参加者は少ないだろうと想定しておりましたが、先生方は市内の先生のみならず、実は大学から先生が2名、学生が7名、また大学院生も参加しておりました。

ですので、非常にアカデミックな研究公開となって、「学生のメモ力」あるいは「それを繋いでの発信力」というか、すごく先生方にとっても刺激になったのではないかなと思います。

そういう意味で、先ほど田原委員からもありましたけれども、校長のリーダーシップのもとで、職員が一体となつての取組ができていたのかなと

ということ、学校全体の取組として公開ができたことはよかったなと思ったところです。

そして、今週の水曜日は垂水中央中学校で道徳の研修会でした。

管内の中学校の先生方が多く参加され、全体で50名を超える参加がありました。

そういう中で、お二人の先生方に提案授業ということで行ってもらいましたが、いわゆるICTをうまく使いながらということもあったと思いますが、本音をどれだけ引き出せるかというところがなかなか難しい面があったなと感じたところでした。

中学生ですので、「ここでもっとこうすれば」という場面がいくつかありましたが、果敢にお二人ともチャレンジしながら、ICT機器もうまく使いながら授業をしてくれました。

こちらにもまたある意味、道徳の中でタブレットをどう使うかということも含めて、道徳的な価値にどれだけ近づけるかというところが一番ですけれども、その先にある実践化までが見えることが、道徳の場合、非常に大事です。

その部分で少し課題はあるものの、提案性のある研修会だったかなと思っています。

一番はやはり昨日でした。昨日の垂水小学校は、3年間におよぶ研究でしたので重みもありますし、そして、こちらにも非常に授業の中身がよかったです。そして、また研究発表がすごくよかったです。

コンパクトにまとめられて、20分以内にきちっと済ませて、この3年間の取組として、4年生と5年生における教科担任制をメインとした研究を発表したところでした。

研究公開のアンケート結果を見ると「教科担任制をどんどん自分の学校でも生かしていきたい」とか「自由進度学習を取り組んでみたい」とかいう声が多かったです。

ここに研究公開の意味があるのかなと考えます。

先生方をその気にさせるというのは非常に大事なことで、そういう意味では非常に先生方へのメッセージが届く研究発表であり、公開授業であったと思います。

見ている人は見ているのだなと思ったのが、先生方の、いわゆる協力体制、一丸となった取組が伝わってくるような研究公開だったということです。垂水小学校が本当に大きな集団ですけれども、1つになってみんなで盛り上げた研究公開だったのかなと思います。

また、私も課長も見ながら思ったのは子どもたちの学ぶ姿勢が素晴らしいところでした。5校時、眠たい時間、ただでさえ暑いのに、算数という教科にしっかりと最後まで向き合っている。先生方の持っていき方も巧でしたけれども、子どもをのせるというそのテクニックも含めて、あるいは授業の準備、授業づくりも含めていい公開だったなと思っています。

また今度、二学期、垂水小学校の合同訪問がありますので、そこでまた、さらに進化した授業あるいは学びに向かう子どもの姿を見ることができるとはいいかなと思います。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

6月11日から7月5日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、7月6日から8月8日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会